

## セッションの内容

---

- SPF
  - 山本和彦（株式会社インターネットイニシアティブ）
- DKIM (DomainKeys)
  - 森健（ヤフー株式会社）
- レピュテーション
  - 曾田哲之（株式会社S R A）
  
- 発表15分 + 質疑応答15分

## 内容

---

- ドメイン認証の普及率
- SPF と DKIM の協調
- SPF を普及させるための提案
- SPF の宣言に対する提案

## 普及率の測定報告

### ■ 2005年10月現在

登録型	登録数	MX	SPF	DK
AD(JPNIC会員)	297	254	13	1(2)
AC(大学系教育機関)	3217	3034	22	0(1)
CO(一般企業)	279529	259130	634	2(6)
GO(政府機関)	834	727	2	0(0)
OR(会社以外の団体)	20723	19389	87	1(2)
NE(ネットワークサービス)	17285	13188	83	2(5)
GR(任意団体)	9043	7687	21	0(2)
ED(小・中・高校など主に18歳未満を対象とする各種学校)	4371	3962	8	0(0)
地域型(都道府県名、政令指定都市名、市町村名)	3880	3153	14	0(1)
汎用JPドメイン	419485	265489	771	2(37)
合計	761287	577012	1656	8(56)

<http://member.wide.ad.jp/wg/antispam/stats/index.html>.ja

### ■ 実際のトラフィックに対する比率

- SPF は約二割
- DKIM は森さんが報告

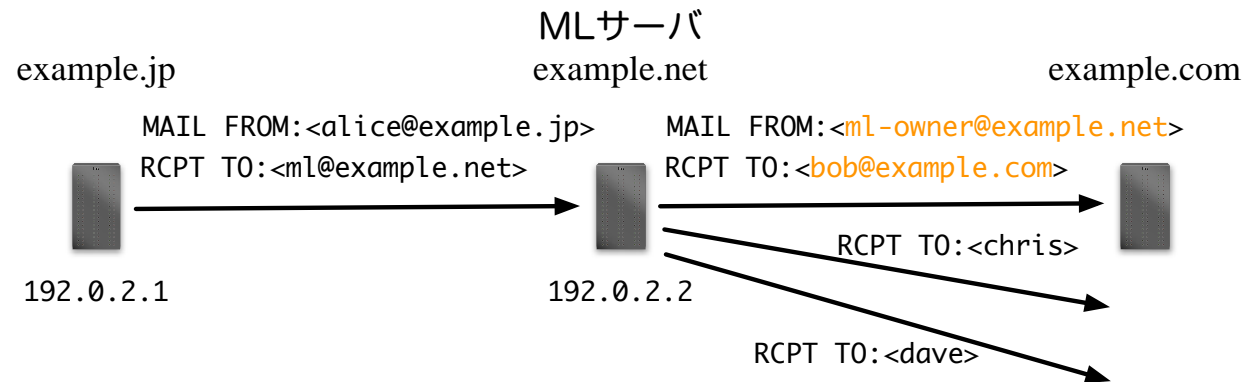
## ドメイン認証の問題点

---

- Sender ID は特許の問題がある
  - おそらく普及しない
- SPF と DKIM が候補
- ドメイン認証の問題点
  - SMTP レベルでの転送
  - メーリングリスト



# メーリングリスト



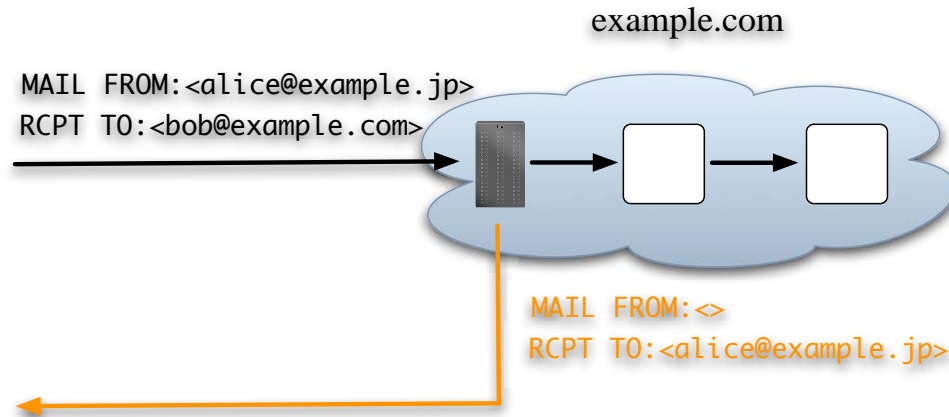
- SPF
  - 問題はない
- DKIM
  - メールを書き換えにより、検証が失敗することがある

## SPF と DKIMの協調

---

- SPF
  - 転送には弱い
  - メーリングリストには強い
- DKIM
  - 転送には強い
  - メーリングリストには弱い
- 両方を使う
  - SPF と DKIM は共存できる
  - SPF と DKIM のいずれかの検査が成功なら受信
  - 両方失敗なら受信拒否

# SPF とエラーメール



- 受信時に SPF 認証
  - ここで受信を拒否するのは大胆過ぎる
- SPF 認証をエラーメールへ活用しませんか？ [提案1]
  - User Unknown の場合、  
SPF 認証で黒と判定されたらエラーメールを返さない
  - このケースは、有意な比率で存在している
- 好循環
  - SPF RR を宣言するとエラーメールが減る
  - SPF RR が増えるとさらにエラーメールが減る



## SPF RR の宣言

---

- SPF RR を宣言する際の "all" は？
  - -all (fail)
  - ~all (softfail)
  - ?all (neutral)
- "~all" と宣言しませんか？ [提案2]
  - SPF 認証で softfail と判定されたら、受信はするが、エラーメールは返さなくてよいと解釈する
- "-all" に変えるタイミング
  - DK が普及してから
  - 受信も拒否